

消化器内科，内視鏡部

1. 診療内容

基本的に消化管疾患、肝胆膵疾患のふたつの専門グループで診療を行っています。消化管グループではクローン病や潰瘍性大腸炎を代表とする炎症性腸疾患、そして食道癌、胃癌、大腸癌などの消化管腫瘍、急性腹症や消化管出血等の急性疾患等に対し、診断から治療まで幅広い診療を行っています。肝胆膵グループでは急性および慢性肝炎、肝細胞癌等の肝疾患、胆道結石や胆嚢癌等の胆道系疾患、急性膵炎、膵癌などの膵疾患に対し幅広く診断と治療を行っています。いずれのグループにおいても他の診療科と連携し集約的診療を行うとともに、院内における全ての消化器疾患に対する診療に介入しています。

2. 診療体制

松井敏幸教授のもと、各グループとも臓器別専門医が中心となり外来および入院診療を行っています。外来診療は月曜日から土曜日まで一日3～5人の医師で診療にあたり、あらゆる消化器疾患に対応しています。また、消化器関連検査はX線検査、内視鏡検査、腹部超音波検査を中心に各検査5～9人程度の医師で月曜日から土曜日まで、消化器内科あるいは他科依頼の患者に対応しています。また内視鏡的腫瘍切除術、内視鏡的胆石除去術、ラジオ波焼灼術などの侵襲的治療は月曜日から金曜日まで毎日行っています。さらに内視鏡的止血術やイレウスチューブ挿入、胆道系疾患に対するドレナージ術などの緊急治療が必要となる患者に対しては、365日24時間体制で対応できる体制が整っています。入院患者の診療は、主に5階南病棟、5階北病棟で行っており、両病棟で67ベットを確保しています。また消化器疾患ということで、特に外科、放射線科、病理部とは密に連携しながらより質の高い診療を提供しています。

3. 診療実績

平成23年度の外来患者総数は27229例（うち新患患者総数は3842例）で、入院患者総数は23825例でした。消化管疾患のうちクローン病患者総数は821例と日本屈指の症例数であり、年間の患者数は未だ年々増加傾向です(図1)。クローン病や潰瘍性大腸炎など炎症性腸疾患においては、従来より行われてきた薬物栄養療法に加え、免疫抑制剤や生物学的製剤など最新の薬物療法をいち早く取り入れ、その有効性を全国に発信しております。

また年間の内視鏡検査は6959例、ダブルバルーン小腸内視鏡検査は157例、小腸用カプセル内視鏡検査は66例でした。さらに近年、消化管腫瘍における革新的治療法として普及しつつある内視鏡的粘膜下層剥離術切は年間で食道40例、胃92例、大腸27例と九州トップクラスの症例数であり、多数の患者が県内外から紹介受診しております(図2,3)。また、消化管診断においては従来のX線検査から最新のNBI併用拡大内視鏡検査、ダブルバルーン小腸内視鏡検査、小腸用カプセル内視鏡検査においても高い診断実績を維持し、本邦のみでなくアジア、ヨーロッパなど海外からの多数の研修医師が訪れて

います。

胆膵疾患のうち、胆道系疾患に対するドレナージ術は 75 例、内視鏡的胆石除去術は 110 例であった。特に ERCP の検査数は 574 例と急増中であり(図 4)、地域からの紹介患者数の急増は地域の胆膵疾患患者を一手に受け入れている様な実状です。治療は、慢性ウイルス性肝炎に対する最新の薬物療法のみでなく肝細胞癌に対する造影超音波診断やラジオ波焼灼術(図 5)、など最新の診断治療を導入しています。また食道静脈瘤破裂例に対する緊急内視鏡治療は常時対応できる体制を整えています。

4. 今後の展望と課題

消化管、肝胆膵いずれの領域においても多数の学会（日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本大腸肛門病学会、日本消化管学会、日本集団検診学会、日本胃癌学会、日本食道学会、日本大腸検査学会、日本肝臓学会、日本超音波学会など）に所属し、各学会の専門医や指導医資格を取得しています。国内の学術集会や国際学会、研究会には積極的に参加し、多数例の患者の診療実績から得られた臨床研究の成果を講演発表あるいは論文文化により国内外へ発信してきました。

また厚生労働省研究班や各疾患研究グループなどを通じて多くの多施設共同研究や治験に関わり、その成果に貢献してきました。社会的には学術集会や研究会の主催、参加による医療従事者の資質の向上のみでなく、市民公開講座やマスメディアを介して患者や健者に対して最新の医療情報を提供し、教育的サポートや啓蒙を行ってきました。地域の紹介医師と合同で、症例カンファレンスを定期的に行い、地域医療との連携を深めています。

消化管、肝胆膵いずれの領域においても、患者数が未だ増加中であり、それに対応する医局員も安定した入局者数により年々増加しています。今後、診療のさらなる充実と、研修医や質の高い専門医の育成は我々に課せられた課題であり、教育機関としての貢献も継続していく予定です。現在、消化器内科独自のホームページ(<http://www.shoukaki.com/>)を開設しております。当科の診療案内やスタッフ紹介、業績などを掲載しておりますのでぜひご参照ください。

図1 Crohn病症例数

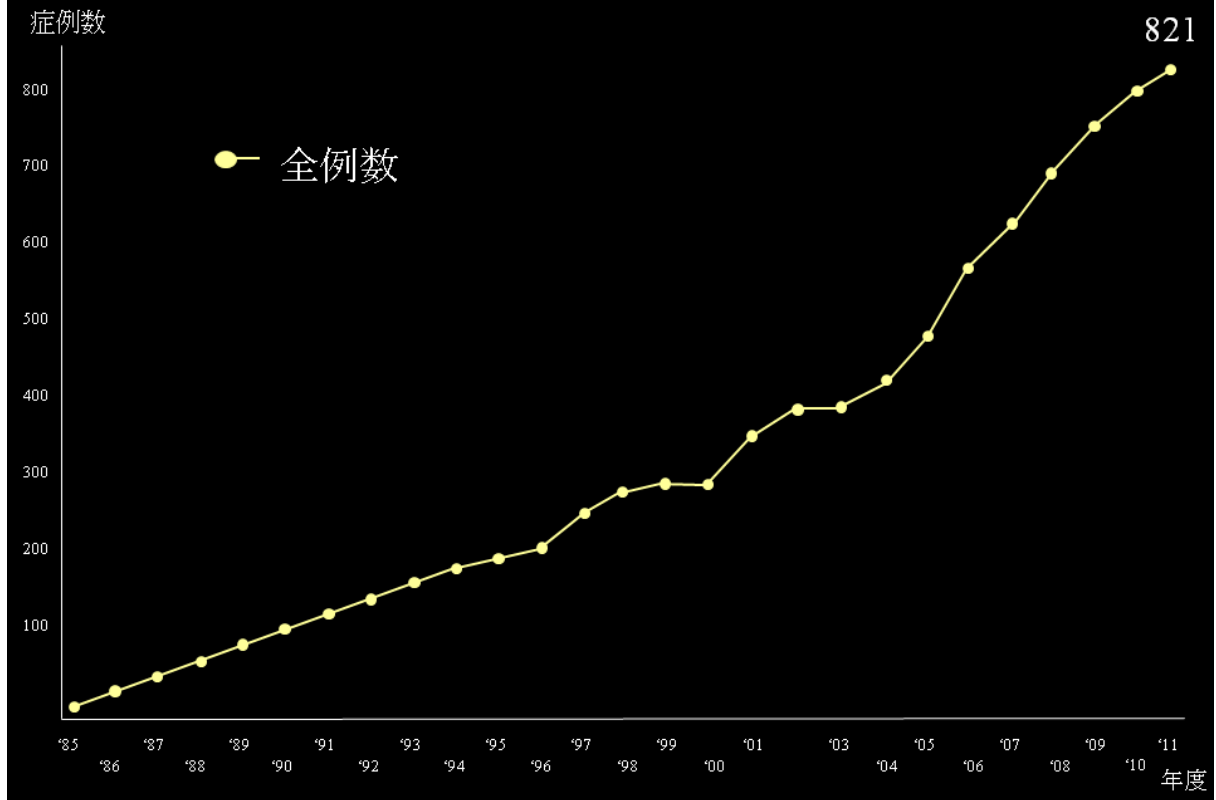


図2 食道癌治療例の推移

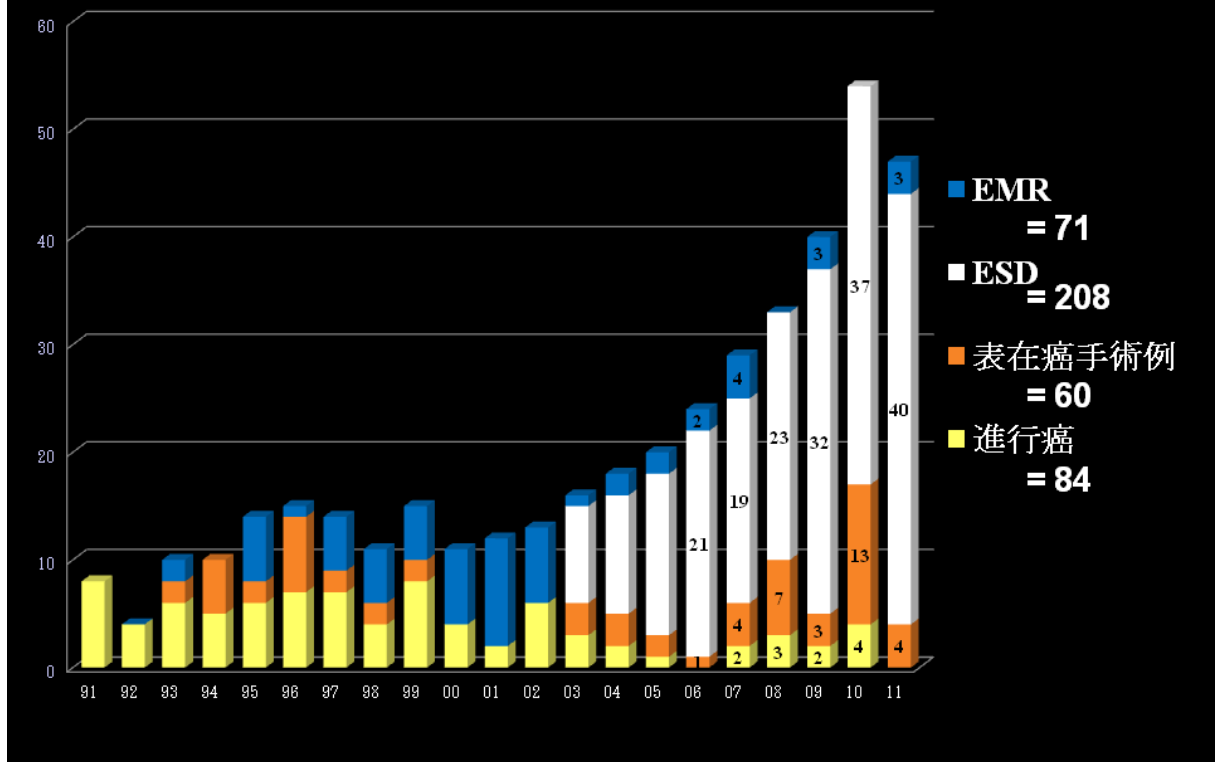


図3 胃癌治療例の推移

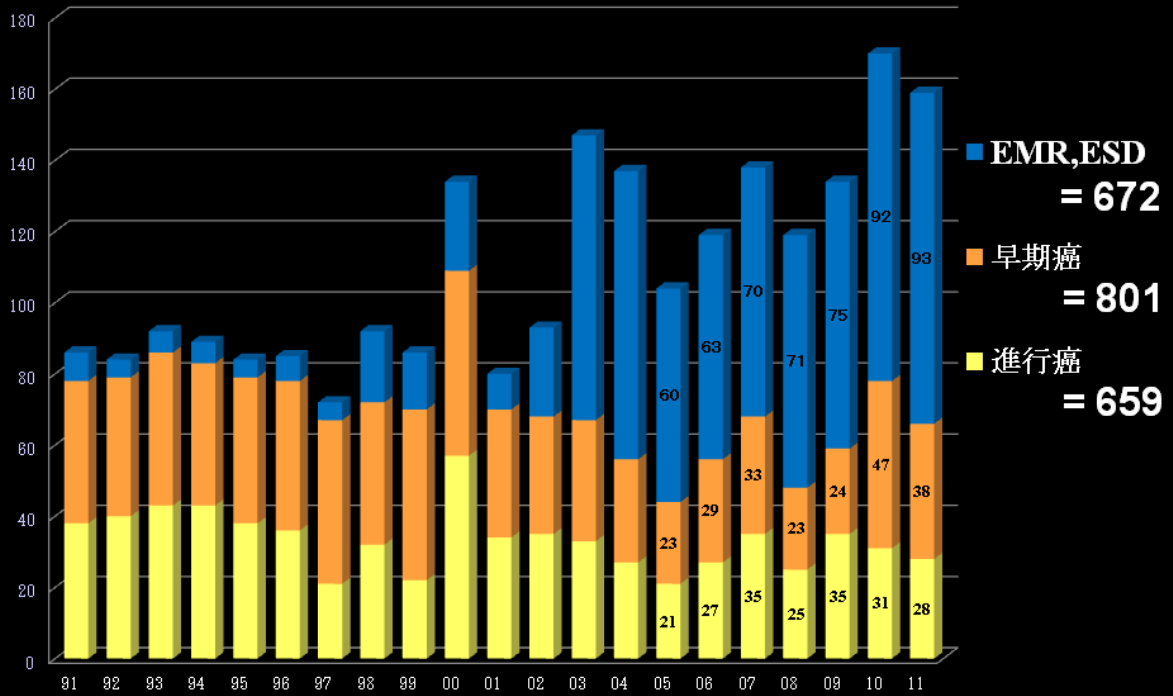


図4 ERCP件数と総胆管結石症の年次推移

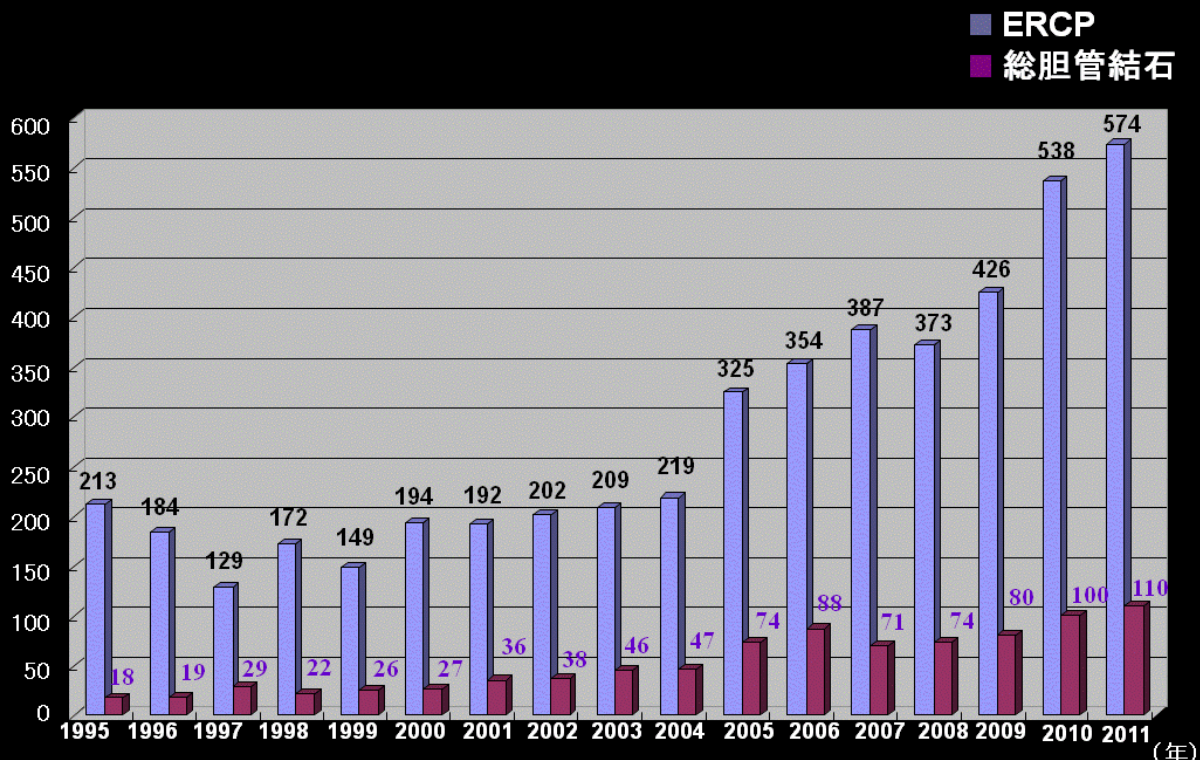


図5 肝癌に対するラジオ波焼灼術

